ビデオスプリント Ⅱ N

取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことに
ありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき
正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは
必ず保管し、わからないときには再読してください。

⚠ 注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり
物的損害の発生が想定される内容です。

⊘ 禁止 このマークは禁止（してはいけないこと）内容です。
説明にしたがい事故のないようお使いください。

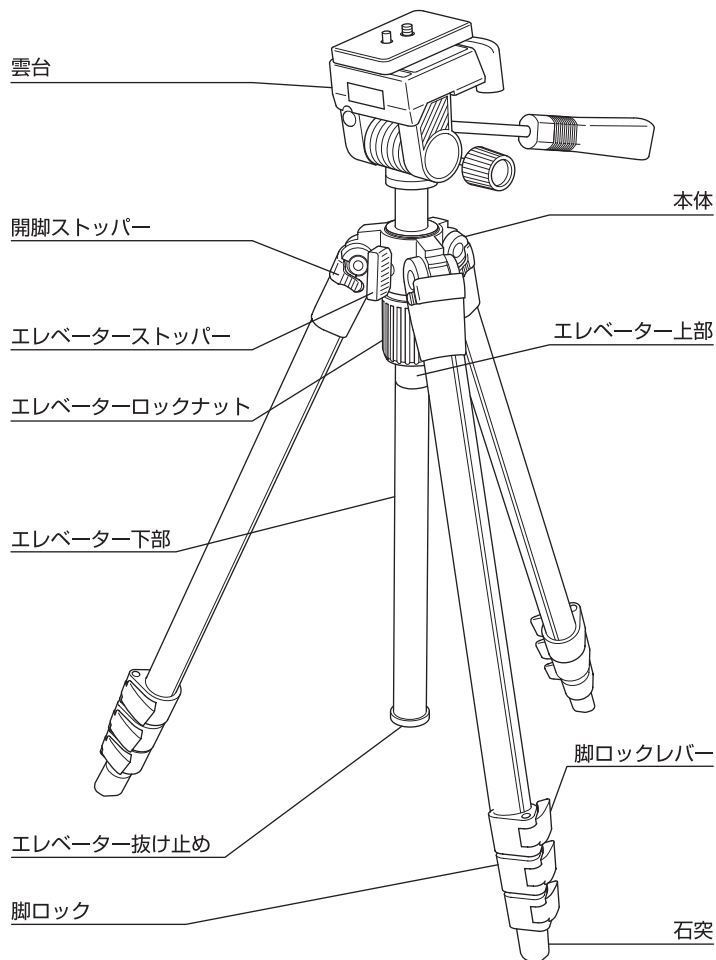
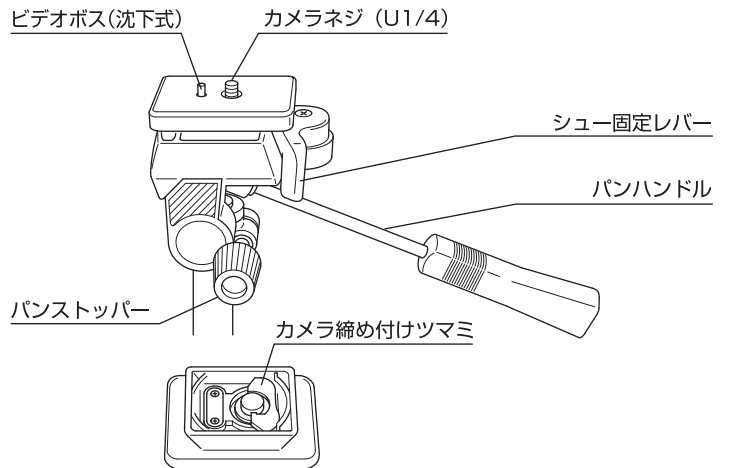
P846

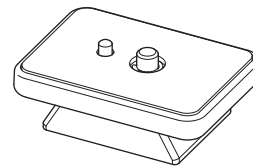
仕様

縮長	480 mm
全高	1,622 mm
EVスライド	300 mm
質量	1,040 g

三脚ケース付

各部名称

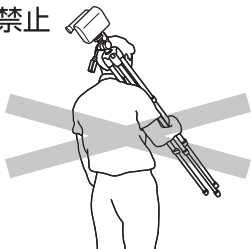
雲台
開脚ストッパー
エレベーターストッパー
エレベーターロックナット
エレベーター下部
エレベーター抜け止め
脚ロック
本体
エレベーター上部
脚ロックレバー
石突

雲台

別売品

スペアー用クイックシュー
6014 イージーポッド用

搭載する機材

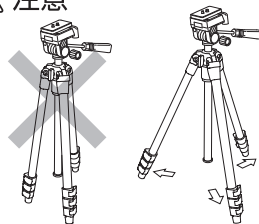
⊘ 禁止

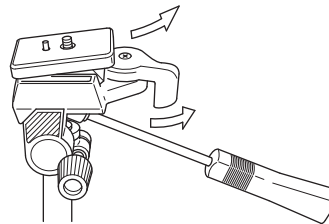
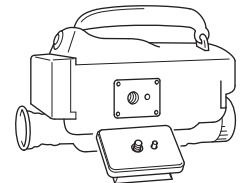
この製品は、2kg位までの機材を
載せるように作られています。
これ以上の機材は載せないで
ください。
また、2kg以下のものであっても
重心位置によりバランスの取り
にくいものもあります。
そのようなときは、上のクラスの
三脚をお使いください。

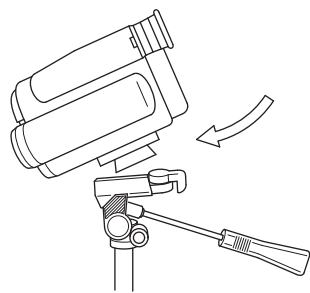
持ち運びのとき

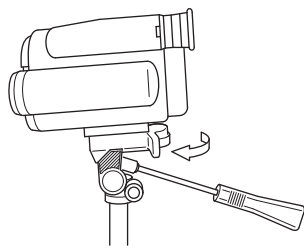
⊘ 禁止

三脚にカメラを取り付けたまま移動すると思わぬ事故を起すことがあります。
カメラは三脚から外して運搬してください。

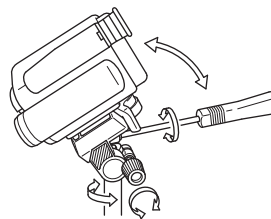
機材のセットアップ

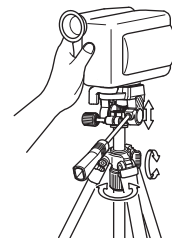
⚠ 注意

カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類のロックは確実に行って、落下や転倒を防いでください。
3本の脚を十分に開いてください。
脚の開きが不十分だと不安定でカメラブレや転倒の原因になります。

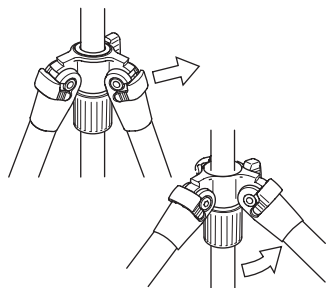
カメラの取り付け方

シュー固定レバーを矢印方向に起こし、クイックシューを取り出してください。
このときシュー固定レバーは、ストッパーにより起きた状態になっていますので無理に戻さないよう注意してください。

カメラ締め付けツマミを起こし、ツマミを回してカメラとシューをしっかり固定してください。固定し終わったら、カメラ締め付けツマミをたおしてください。
ビデオボスは沈下式のためビデオカメラ、スチルカメラどちらにも使えます。

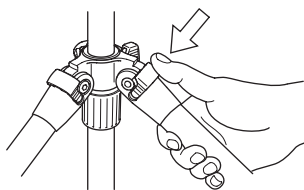
カメラの取り付け方（つづき）

カメラ付のシューを前方から先に入れてください。

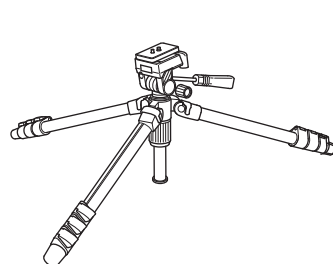
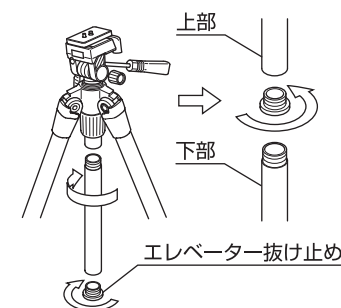
⚠ 注意

セットするとシュー固定レバーは自然に戻りますが、前方に押しこんで、確実に固定してください。

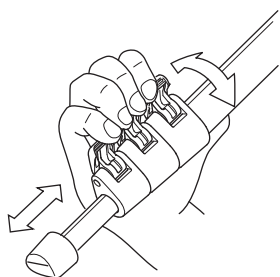
雲台の使い方

パンハンドル、パンストッパーをゆるめるとそれぞれティルト（前後回動）又は、パン（左右回転）できます。
パンハンドルから手を離すときには、カメラの傾きに十分注意してください。
パンするときはエレベーターストッパーをロックしてください。

エレベーターの使い方

雲台に手をそえてエレベーターストッパー、エレベーターロックナットの順にゆるめます。
雲台を上下させて位置がきまったら、手を離す前にしっかりとナット、ストッパーを締め付けてください。

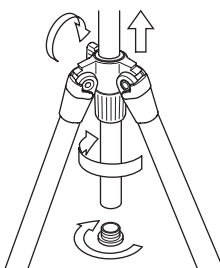
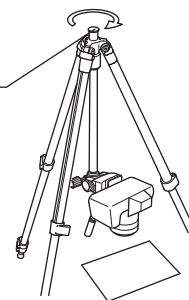
開脚角を変える

標準の開き位置から脚を少し閉じるようにして、開脚ストッパーを引き出すと残り二つの開脚角（ミドル、ロー、ポジション）がえらべます。

⚠ 注意

使用角度が決まったらストッパーをつきあてにあたるように確実にもどしてください。

ローポジション

エレベーター下部を取り外すことにより、より地面に近い位置からの撮影が可能です。

エレベーター抜け止めと、エレベーター下部を矢印方向にねじり、取り外します。取り外したエレベーター抜け止めは、エレベーター上部の下側に必ず取り付けてください。

脚の伸ばし方

脚ロックレバーを開くとパイプは伸縮できます。
希望の位置でレバーをしっかりロックしてください。
太いパイプを優先してご使用になるとグラつきが少なくなります。

エレベーターの上下差しかえ

⚠ 注意

エレベーターを下から差し込むとデジタルコピーや、接写に使えます。
エレベーター抜け止めをはずし、エレベーターストッパーと、ロックナットをゆるめて、エレベーターを上に引き抜きます。
エレベーターを下から差し込み、ストッパーとロックナットを締め付け、落下防止のため
エレベーター抜け止めを必ず取り付けてください。

お手入れ

- グリス、油の補給はしないでください。
- よごれたときには、中性洗剤を
  やわらかな布につけてふいてください。
  その後、きれいな乾いた布でふいて
  ください。
- 火に近づけないようにしてください。
  夏など高温になる車内などに長時間
  放置しないでください。

＊改良のため、お断りなくデザイン、仕様を
変更することがありますのでご了承ください。

アフターサービス

製品の修理に関してはお買い求めの販売店または販売元のケンコー・トキナーへご依頼ください。
本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。
したがって本期間中は修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ　http://www.slik.co.jp/

スリック株式会社
本社/〒350-1231 埼玉県日高市鹿山853

スリック製品販売元
株式会社 ケンコー・トキナー
〒161-8570 東京都新宿区西落合3-9-19 Tel. 03-5982-1060